

## 指定管理者が行う公の施設の管理状況報告(令和2年度分)

＜県の評価等＞

施設所管部名： 子ども・福祉部

### 1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	みえこどもの城（松阪市立野町 1291 番地）
指定管理者の名称等	公益財団法人三重こどもわかもの育成財団 理事長 福田 圭司
指定の期間	平成 28 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みえこどもの城条例第 2 条に規定する事業（児童の健全育成に関する内容、地域の児童館等への指導・助言等）の実施に関する業務</li> <li>・みえこどもの城の施設及び設備の利用の許可等に関する業務</li> <li>・みえこどもの城の利用料金の收受等に関する業務</li> <li>・みえこどもの城の管理施設の維持管理及び修繕に関する業務</li> <li>・上記業務のほか、知事がみえこどもの城の管理上必要と認める業務</li> </ul>

### 2 施設設置者としての県の評価

※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	指定管理者の自己評価		県の評価		コメント
	R 元	R2	R 元	R2	
1 管理業務の実施状況	A	A			<p>新型コロナウイルス感染症の影響があるなか、管理・運営業務を適正に行うとともに、感染防止対策など施設の衛生管理に注力し、利用者の安心・安全を確保した。</p> <p>施設の維持管理及び修繕についての確に対応し、老朽化した設備の状況について県と緊密な情報共有を図った。</p>
2 施設の利用状況	A	B			<p>新型コロナウイルス感染症の影響があるなか、県内の企業、団体、大学、地域等との協働事業を実施等することで、利用者確保し、新たな利用者の獲得に繋がる関係を構築した。</p> <p>すでに実施していた公式 Twitter 配信に加えて、新たに Youtube 公式チャンネルの配信を開始するなど、みえこどもの城の情報をより効果的かつ魅力的に発信し、積極的な施設利用の促進を行った。</p>
3 成果目標及びその実績	A	B			<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、施設を臨時休館とするなどの対応を行ったところ、県が指定する成果目標のうち、「年間総利用者数」、「児童健全育成拠点事業実施回数」が未達成となった。また、指定管理者が設定した 15 の成果目標についても、未達成の目標があるものの、新型コロナウイルス感染症の影響がなければ、達成していたと考えられる。</p>

※「評価の項目」の県の評価：

- 「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
- 「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
- 「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

総括的な評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響があるなか、第 3 期みえこどもの城指定管理事業計画に基づき、安全・安心な施設運営や施設機能の効率的かつ効果的な活用を行っている。</li> <li>・施設の維持管理等については、迅速かつ的確に対応しており、感染拡大防止対策等の施設の衛生管理に注力して利用者の安心・安全を確保したことは、特に優れた実績を上げていると評価できる。</li> <li>・企業、大学、団体、ボランティア等との協働事業を実施し、提供するサービス内容の充実と多様化を図ったうえで、子どもが大人と交流する機会を創出し、子どもが豊かに育つことができる地域社会づくりに貢献した。</li> </ul>
--------	---

	<p>・SNS時代に相応しい情報媒体コンテンツを駆使し、より効果的かつ魅力的な情報発信を実施したことは、当初の目標を達成していると評価できる。</p> <p>・成果目標のうち、「利用者の満足度」(96%)については、目標(80%)を達成したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、年間総利用者数(目標 200,000 人、実績 116,342 人)及び児童健全育成拠点事業実施回数(目標 90 回、実績 87 回)については、未達成となった。また、指定管理者が独自に設定した成果目標について、未達成の目標があるものの、新型コロナウイルス感染症の影響がなければ、目標を達成していたと考えられる。</p> <p>以上のことから、新型コロナウイルス感染症の影響があるものの、みえこどもの城の指定管理者として、概ね適切に管理・運営を行っていると判断する。</p>
--	--

## <指定管理者の評価・報告書(令和2年度分)>

指定管理者の名称: 公益財団法人三重こどもわかもの育成財団

### 1 管理業務の実施状況及び利用状況

#### (1)管理業務の実施状況

##### ① みえこどもの城管理・運営事業の実施に関する業務

###### (1)年間総利用者数について

令和2年度の年間総利用者数は、116,342 人となり、目標数 20 万人の達成には至らなかった。

未達成となった主な原因については、新型コロナウイルス感染症の影響により、繁忙期であるゴールデンウィーク期間を含む4月15日(水)～6月1日(月)までの間を臨時休館としたことが大きな要因と考えられる。

また、上記の臨時休館以外にも、開館時間の短縮や利用ブースの制限等により、利用者数が減少したと考えられるが、アンケート等を使って、利用者の声を積極的に収集・分析するとともに、職員・ボランティアを対象とした研修や企画会議等を開催し、内容の見直しや改善、積極的な広報、マスコミへの情報提供等による施設全体のサービス能力の向上に努めた。さらに、すでに実施していたみえこどもの城公式 Twitter の配信に加えて、Youtube 公式チャンネルの配信を開始するとともに、イベント情報紙の配送先、配送数の見直し改善を図り、より効果的な情報発信を行うことで、利用者の確保に努めた。

###### (2)児童健全育成拠点事業実施回数について

令和2年度の実施回数は 87 回となり、目標数 90 回の達成には至らなかった。

ただし、新型コロナウイルス感染症の影響があるなか、各地域等からの要請に可能な限り応え、対象となる子どもの年齢や人数などに応じた遊びや体験等の事業を実施するとともに、工作やカブラ指導等のサービスを提供する拠点先となる「サテライトこどもの城」を実施した。

###### (3)利用料金収入について

令和2年度の利用料金収入(諸収入)については、3,771,380 円となり収入見込みを大幅に下回った。

主な原因については、年間総利用者数の未達成と同じく、4月15日(水)～6月1日(月)までの臨時休館が大きく影響したこと、開館時間の短縮や利用ブースの制限等により、年間利用者数が減少したことが考えられる。

今後は、事業内容の見直しや広報等により、利用者数を増やし、効率的な事業収入の確保に努める。

## ② 施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務

施設の維持管理に必要な保守点検を的確に実施するとともに、施設設備の不具合の未然防止、早期発見、早期対応に努めることで、来館者の安全を確保し、サービス低下を防止した。

また、施設自体も築30年以上経ち、従来の定期的な保守点検や軽微な修繕では対応できない深刻な故障、大規模修繕が増えてきている。また、業者による保守点検においても、部品の交換や劣化を指摘される設備が増え、修繕の回数や経費も増加している。

このことから、施設の抜本的な改修が必要になっており、県にも対応を要請している。

## ③ 県施策への配慮に関する業務

県施策の発信を行うために次の企画を実施した。

### (1) 子ども・家庭関係

- ・三重県子ども虐待防止・いじめ防止啓発事業 オレンジリボンキャンペーン 今こそ心をつなげよう
- ・児童虐待防止啓発パネル展示  
(子どもを虐待から守る条例 第28条に基づく年次報告書 等)

### (2) 防災関係

- ・あると便利な防災グッズ展

### (3) 環境関係

- ・森の学びサミット
- ・森の学校(県産杉のイスを作ろうなど)

### (4) 消費生活関係

- ・ゼロから学ぶお金の話～はじめての金融教育～

### (5) 家庭の日・県民の日

- ・県民の日特別企画 みえこどもの城オリジナルプラネタリウム番組無料投影(臨時休館のため中止)
- ・家庭の日特別イベント「家族みんなであそぼ♪」シリーズ企画(10回)

## ④ 情報公開・個人情報保護に関する業務

- ・公開請求なし

## ⑤ その他の業務

県内の企業、団体、大学、地域等との協働事業により、職場体験、研修の受入れを行った。

- (1) インターンシップ 大学生等 24名
- (2) 職員研修 教職員(2・3年次研修)2名

## (2) 施設の利用状況(成果目標とその実績)

### ① 県指定の成果目標

区分	令和2年度成果目標	令和2年度実績
① 年間総利用者数	200,000人	116,342人
② 児童健全育成拠点事業実施回数	90回以上	87回
③ 利用者の満足度	80%以上	96%

### ② 財団が設定する成果目標

区分	令和2年度成果目標	令和2年度実績
① 子どもに関する情報パネル展	5企画	5企画
② ドームシアター事業	25,000人	7,503人
③ クライミングウォール事業	利用者数 12,000人 選手権参加数 30人	2,460人 0人

④ カブラ事業 (カブラ教室実施回数)	12回	2回
⑤ 創作活動	106 企画	90 企画
⑥ 身体活動	企画数 10回 遊具コーナー利用者数 28,000人	10回 4,563人
⑦ 他団体との共催事業	10 企画	16 企画
⑧ ボランティア・大学生などの 企画事業	20 企画	31 企画
⑨ 繁忙期対応特別事業	2企画 10,000人	21 企画 11,254人
⑩ 地域協働大型イベント	50 団体 120人	60 団体 9人
⑪ 県施策関連イベント・展示	20 企画	17 企画
⑫ サテライトこどもの城	5件	5件
⑬ ボランティア育成	8グループ	5グループ
⑭ 利用促進	190 件	82 件
⑮ ホームページによる 情報提供	190,000 件	112,726 件

## 2 利用料金収入の実績

(単位:円)

利用料金収入内訳	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
ドームシアター事業	68,400	586,920	628,260	245,900	1,529,480
クライミング ウォール事業	26,200	97,600	84,200	77,600	285,600
カブラ活用事業	0	0	0	0	0
創作活動	69,100	302,600	332,700	281,600	986,000
身体活動	8,600	149,400	162,800	196,800	517,600
他団体との共催事業	0	0	27,800	32,200	60,000
ボランティア・大学生などの企画事業	0	4,500	11,800	12,500	28,800
繁忙期対応特別事業	0	18,600	25,400	105,400	149,400
地域協働大型イベント	0	15,000	0	0	15,000
県施策関連イベント	0	0	0	0	0
映像体験遊具	14,000	56,100	48,900	70,700	189,700
その他	600	5,600	1,800	1,800	9,800
計	186,900	1,236,320	1,323,660	1,024,500	3,771,380

### 3 管理業務に関する経費の収支状況

(単位:円)

収入の部			支出の部		
	R 元	R2		R 元	R2
指定管理料	134,542,000	138,783,000	事業費	94,821,830	100,392,357
利用料金収入	9,200,820	3,771,380	管理費	44,775,582	47,950,463
その他の収入	5,708,833	10,054,134	その他の支出	10,000,000	4,500,000
合計 (a)	149,451,653	152,608,514	合計 (b)	149,597,412	152,842,820
収支差額 (a)-(b)	△145,759	△234,306	/		

※指定管理者が変わった場合、前年度の収支状況には斜線を記入しています。

※参考

利用料金減免額	250,800 円
---------	-----------

### 4 成果目標とその実績

成果目標	<p>指定期間で達成すべき成果目標(県による設定値)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>年間総利用者数 年間 200,000 人</li> <li>児童健全育成拠点事業実施回数 90 回以上</li> <li>利用者の満足度 80%以上</li> </ol>
成果目標に対する実績	<p>(1)年間総利用者数について 令和2年度の年間総利用者数は、116,342 人となり、目標の 20 万人の達成には至らなかった。 未達成となった主な原因については、新型コロナウイルス感染症の影響により、繁忙期を含む期間の臨時休館や、開館時間の短縮や利用ブースの制限等を行ったことで、利用者の減少が常態化したためと考えられる。</p> <p>(2)児童健全育成拠点事業実施回数について 令和2年度の移動児童館等の実施回数は 87 回となり、目標の 90 回の達成には至らなかった。 ただし、新型コロナウイルス感染症の影響があるなか、各地域等からの要請に可能な限り応え、対象となる子どもの年齢や人数などに応じた遊びや体験等の事業を実施するとともに、工作やカプラ指導等のサービスを提供する拠点先となる「サテライトこどもの城」を実施することで、可能な限り成果目標の達成に努めた。</p> <p>(3)利用者の満足度 今年度の満足度は 96%となり、目標の 80%を大幅に上回った。 アンケートや子どもモニターを活用して、利用者等の声を積極的に収集・分析したほか、その結果を企画の見直しなどに反映させ、施設全体のサービスの向上に努めたことで、高い満足度の維持につながった。</p>

今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援や次世代を担う児童・青少年の育成の連携企画等の充実を図る。</li> <li>・地域の団体・グループと連携して各種事業を実施するなど、事業内容の充実を図るとともに、地域の子育て関連団体との連携によりサテライトこどもの城を実施し、新たな拠点事業を展開する。</li> <li>・県等の施策と連携した少子化対策事業の推進に努める。</li> <li>・施設の老朽化が進み、雨漏れ修繕など施設にかかる更新、修繕等の必要性が増しているため、日々の施設管理にさらに取り組むとともに、みえこどもの城の状況等を適切に県へ情報提供する。</li> </ul>
---------	--

## 5 管理業務に関する自己評価

※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	評価		コメント
	R元	R2	
1 管理業務の実施状況	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理・運営業務を適正に行った。</li> <li>・管理の瑕疵に起因する利用者の負傷等の事故はなかった。</li> <li>・施設の維持管理及び修繕について適切に対応した。</li> </ul>
2 施設の利用状況	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の企業、団体、大学、地域等と、利用者の確保や新たな利用者の獲得に繋がる関係を構築し、多様な企業・団体と連携した様々な事業を実施した。</li> <li>・令和2年4月より、Youtube 公式チャンネルの配信を開始し、みえこどもの城の情報をより効果的かつ魅力的に発信し、積極的な施設利用の促進を行った。</li> </ul>
3 成果目標及びその実績	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休館の期間があり、県指定の成果目標である「年間総利用者数」、「児童健全育成拠点事業実施回数」について達成に至らなかった。</li> <li>・指定管理者が設定した 15 の成果目標について、未達成の目標があるものの、事業を順調に実施しておれば、高い基準で達成していたと考えられることから、目標設定及び実績については適切であったと判断する。</li> </ul>

※評価の項目「1」の評価：

- 「A」→ 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
- 「B」→ 業務計画を順調に実施している。
- 「C」→ 業務計画を十分には実施できていない。
- 「D」→ 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※評価の項目「2」「3」の評価：

- 「A」→ 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
- 「B」→ 当初の目標を達成している。
- 「C」→ 当初の目標を十分には達成できていない。
- 「D」→ 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

総括的な評価	<p>第3期みえこどもの城指定管理事業計画に基づき、安全・安心な施設運営や施設機能の効率的かつ効果的な活用を図った。また、企業、大学、団体、ボランティア等といった地域社会との協働により、子どもの健やかな成長を支援するとともに子どもが育つ地域社会づくりを推進した。</p> <p>ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により、県指定の成果目標である「年間総利用者数」と「児童健全育成拠点事業実施回数」については、目標達成に至らず、「利用者の満足度」のみが目標達成となった。また、指定管理者が独自に設定した 15 の成果目標について、未達成の目標があるものの、新型コロナウイルス感染症の影響がなければ達成が可能であったと考える。</p> <p>一方、施設自体は築 30 年以上経ち、従来の定期的な保守点検や軽微な修繕では対応できない深刻な故障、大規模修繕が増えてきている。また、業者による保守点検においても、部品の交換や劣化を指摘される設備が増え、修繕の回数や経費も増加している。このことから、施設の抜本的な改修が必要になっており、今後も県に対応を要請していく予定である。</p> <p>利用者の満足度についても、アンケートや子どもモニター等により、利用者の声を積極的に収集・分析し、企画の見直し改善に反映するなど施設全体のサービス能力の向上に努めた。</p>
--------	--

